

病理検査って？

臨床検査技師

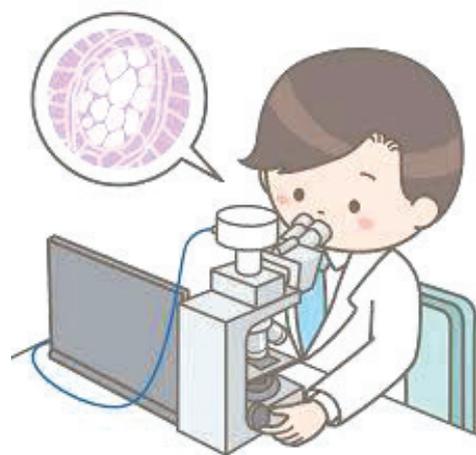
たにざき
谷崎 みゆ

病理検査とは、患者さんから採取した臓器・細胞を顕微鏡で観察し、がんなどの様々な疾病の診断や、病態評価を行う検査です。主に組織検査、細胞診検査があります。

組織検査は、注射針や内視鏡鉗子で組織片を採取した生検や、手術で摘出した臓器の診断を行います。生検や手術を行うと、摘出された臓器は病理検査室に提出されます。臓器はホルマリン固定を行い、パラフィン（ロウソクのろう）で固め、約3マイクロメートルの薄さに切って染色（HE染色）をします。これを顕微鏡で観察し、がん細胞の状態や型の分類、悪性細胞の有無等を調べて診断をします。がんの摘出臓器以外にも、虫垂炎や子宮筋腫、胆嚢結石等で摘出した臓器も同じように病理検査を行い、診断をします。

細胞診検査は体の外に出てくる細胞を検査して、異常な細胞がないかを検査します。喀痰では肺の細胞、尿では膀胱の細胞、子宮がん検診では子宮内の細胞、乳がん検診では乳腺の細胞を見ます。検体が塗抹されたスライドガラスを染色（パパニコウ染色）し、顕微鏡で観察して細胞判定を行っています。

病理検査では他に炎症や感染症、ホルモンの状態等も判定することができます。また、分子標的薬という薬剤の標的となる遺伝子やタンパク質を調べる検査も行っています。様々な検査を行っている病理検査について少しでも知っていただくと嬉しいです。



看護週間のご案内

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日（5月12日）を含む1週間を『看護週間』としています。富山ろうさい病院として地域の皆様が自身の健康に関心を持っていただけるようなポスター掲示を行います。

お立ち寄りの際は、是非ご覧下さい。

掲示日時 2020年5月16日（土） 10時～21時 アップルヒル中央出入り口



<健康診断の結果、「精密検査必要」と言われた方の受診予約（電話等）を受けています>

待ち時間が少なく、スムーズに受診を受けられます。

特にお仕事をされている方、多忙な方はどうぞ地域医療連携室（下記）にご連絡ください。

電話 0765-22-1354（平日9：00～16：00）

FAX 0120-935-631

富山ろうさい病院では、緊急の方を優先して診察します。救急車で搬送された方は、医師、看護師が救急室で待機し、入院まで速やかに対応できるように準備しています。症状を自覚した時、我慢をせず、早期に対応することで療養期間を短くすることもあります。速やかな受診をお勧めします。

電話 0765-22-1280（病院代表）